

# 中宮祠の前田 茂さん コスモス文学新人賞に入選

中宮祠丸山の前田茂さん（五十歳）の現代詩「星々からの使者」と長編小説「滝つ瀬妖姫」が、このほど「コスモス文学の会」（長崎市）の第三十八回新人賞に同時入選しました。いずれも初めての応募での入選です。



前田 茂さん

岐阜県高山が舞台。山歩き好きの青年が滝つぼで泳ぐ娘と出会う。ぜひ親と会ってほしいと頼まれて娘の家に行く。両親はすでにこの世にいない、氷室の氷で死体は保存されていた……。いくらかミステリ風味ですが、自然を愛する文章が小説のすみずみに表れています。

前田さんは北海道生まれで、昨年の春、丸山の大学寮の管理人として勤め始めました。文学はもともと好きで、詩は中学生から、小説は十八歳ごろから書き始めました。現在は同人誌に「宇宙ロマン物語」

を連載中です。日光の印象を聞いたところ「日光の自然は、北海道と似ていて実にすばらしい。これから

## 市役所で 一日防犯相談所を開設

### 一日防犯相談所を開設

五月二十七日から六月二日まで、市内全域で春の市民総ぐるみ防犯運動が行われました。その一環として、五月三十一日、市役所一階市民待合室で、一日防犯相談所が開設されました。相談に応じたのは、日光警察署防犯係の警察官と婦人補導員で、約十件の相談ごとに親切に応待し、好評を得ました。

この防犯運動は、日光市、

## 話 題

### 初めての交通 教育指導員が誕生



若林美千代さん

六月一日、日光市で初めての交通教育指導員に、若林美千代さん（稲荷一）が任命され、小平市長から辞令が交付されました。

交通指導員というと、毎朝子供達の通学時に横断歩道に立ち、安全な誘導をしてくれる一般指導員がおなじみですが、このたび若林さんが任命

された教育指導員は、園児・児童および生徒に対する交通安全教育の実施が主な任務となります。

現在、若林さんは日光警察署で研修を受けているさなかで「毎日が自分の勉強で一杯」と言いながらも、「おとしよりや子供達に交通安全の大切さを知ってもらい、悲惨な交通事故から守ってあげたい」と仕事への意欲を表わしていました。

でも文筆活動は続けるので、日光を題材にした作品を発表していきたい」と抱負を話しました。



市役所で行われた防犯相談

## 湯の湖・中禅寺湖の クリーンキャンペーン

### クリーンキャンペーン

環境週間中の六月七日、湯の湖・中禅寺湖クリーンキャンペーンが行われました。

このキャンペーンは、湯の湖・中禅寺湖を水質汚濁から守ろうと五年前に結成された「湯の湖・中禅寺湖をきれいにする会（加藤光男会長）」会員のみなさんの清掃奉仕で、今年で五回目となります。

この日は、午前六時から中禅寺湖畔に約二百五十人、午前十時三十分から湯の湖畔に約五十人が参加して行われました。湯の湖清掃では、和船ボートなど二十隻を繰り出し、湖上からゴミや空き缶拾いを行いました。

地元住民のこのような努力が「クリーン日光」のイメージを築きます。ゴミの持ち帰りを守ってほしいものです。



湖上からのゴミ拾い

市民のページ

市民相談室フリーダイヤル 0120(25)2484